



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2012.2月号

第13回 博物館文化祭 ～サークル活動展示・発表～

◇展示：平成24年2月4日（土）～2月19日（日） ◇会場：平塚市博物館特別展示室



◇活動報告会 2月12日（日） 13時～16時10分 博物館講堂 入場自由

順	時間	サークル	タイトル	発表者
①	13:10～13:35	平塚の空襲と戦災を記録する会	平塚空襲と海軍火薬廠	井爪弘一
②	13:35～14:00	古文書講読会	文久4年『須賀村御用留』より	中川二與
③	14:00～14:20	水辺の楽校生きもの調べの会	水辺の楽校の活動と生きもの	舟山凜太郎 臼井勝之
	14:25～14:40	休憩		
④	14:40～15:10	石仏を調べる会	自然石と伝承	栗田唯一
⑤	15:10～15:35	民俗探訪会	相模湾の民俗～漁と信仰～	大貫祐子・岡部盛敏 小山明夫
⑥	15:35～16:05	天体観察会	星を撮る、見えない星も撮る	関谷育雄

◇実演

お雛子研究会「祭り太鼓の演奏」

場所：博物館1階相模の家

日時：2月4日（土）15時～15時30分

平塚の空襲と戦災を記録する会「朗読『炎の証言』より・他」

場所：博物館1階相模の家

日時：2月11日（土）13時～15時

天体観察会「太陽の観察」

場所：博物館屋上

日時：2月12日（日）10時30分～11時30分

★参加団体★

お雛子研究会 / 古文書講読会 / 植物誌
調査会平塚グループ / 湘南コケの会 /
石仏を調べる会 / 展示解説ボランティア
の会 / 天体観察会 / 平塚の空襲と戦
災を記録する会 / 星まつりを調べる会
/ 水辺の楽校生きもの調べの会 / 民俗
探訪会

春期
特別展

平塚と相模の城館

予
書
編

歴史の空白？

平塚の歴史というと、五領ヶ台貝塚や万田貝塚で知られる縄文時代、三角縁神獣鏡が出土したことで有名な真土大塚山古墳や北金目の塚越古墳が造られた古墳時代、現在の四之宮地区から真土・中原地区にかけて相模国府がにぎわいを見せていた奈良・平安時代、徳川家康の中原御殿造営に始まり東海道平塚宿を人々が行き交った江戸時代、そして海軍火薬廠を中心とした発展を見せる近代と、それぞれの時代の特色が知られています。ところが、知名度の点で大きな空白があります。それは中世。鎌倉時代から室町時代、安土桃山時代という武士の時代に関する市内の資料は、前後の時代に比べて極めて少なく、平塚市博物館でも中世に関する常設展示はありませんが、そこにはさまざまなドラマが繰り広げられています。

時代のヒーロー候補だった 真田与一

1月にスタートしたNHKの大河ドラマの主人公、平清盛とその一族は貴族政治を打ち破り、武士として初めて中央政権の中樞を担いました。ところが、当時社会で実力をつけてきた武士階級の支持を集めることはできず、関東を中心とした武士団が「武家の棟梁」として清和源氏の直系である源頼朝を戴いて平氏を打倒すべく立ちあがります。源平合戦として名高いこの合戦は、後世の文学や演劇の題材として数多く取り上げられ、「判官びいき」「弁慶の立往生」など、私たちになじみの深い言



真田与一を祀る与一堂（天徳寺）



岡崎四郎義実の城跡と伝えられる岡崎神社



土屋三郎宗遠の館跡と伝えられる畑

葉の語源になっているほか、源義経、武蔵坊弁慶、平敦盛など絵本にも登場するヒーローを生み出しました。

さて、源頼朝は治承四年(1180)に平氏打倒の旗を上げますが、その頃の歴史を伝える『吾妻鏡』には当初からつき従った人々の中に、平塚市域の地名を名乗る武士6名を記しています。岡崎四郎義実とその子真田(佐奈田)与一義忠、土屋三郎宗遠とその子土屋次郎義清・土屋弥太郎忠光、豊田五郎景俊です。それぞれ名字の場所に館を構えて周辺の開発を進めていた武士たちです。このうち真田与一は当時若干25歳でしたが、石橋山の合戦で郎党陶山文三家安ともども討ち死にしてしまいます。後年頼朝が伊豆山権現、箱根権現、三島神社の三社に参詣するたびに、石橋山の与一と文三の墓を訪れて涙を流したという程の将来有望な若武者でした。相模の名族三浦氏の血をひく若きエースは、生きていれば源義経や平敦盛と肩を並べるヒーローになっていたかもしれません。

武士の時代の平塚

武士の時代「中世」は、いわゆる戦国時代と言われる時期を中心に全国的に戦乱の多い時代です。「武士の都」鎌倉に程近い平塚も例外ではありません。

3月から始まる春期特別展「平塚と相模の城館」では、今まで情報の少なかった「平塚の中世の歴史」を、『城館』をキーワードにして紐解いていきます。ご期待ください。

寄贈品コーナー

自然探偵の歩いた道～学芸員・浜口哲一の35年～

期間：2012年2月1日～2月28日



▲海辺での観察会 1975年

当館の生物担当学芸員で元館長の浜口哲一さんは、地域の博物館を親しみやすい場にするのに力をつくしました。また、さまざまな場面で活躍されてきましたが、2010年5月3日、急逝されました。今でも浜口さんのことを慕い、惜しむ声が平塚市を越えて多くのところから聞こえてきます。今回の展示では、浜口さんの平塚市博物館での仕事を振り返って、「自然探偵」の足跡をたどりつつ、今年度で開館35周年を迎える平塚市博物館のこれまでを生物分野を中心にご紹介したいと思います。今回は生物分野を中心にご紹介しま

すが、他の分野と共通する部分も多くあり、平塚市博物館の活動の縮図の一つとも言えるでしょう。

今回の展示では、過去の事業の写真の他、浜口さんの描いた絵、観察会で使用したイラスト紙芝居、野帳、図録などを展示します。

※「自然探偵」は浜口さんが作成した博物館HPの人気コンテンツで使われている名称です。ぜひ一度ご覧ください。

君も自然探偵 http://www.hirahaku.jp/web_yomimono/tantei/index.html



▲こども観察会 1999年

三二文化祭

砂浜散策一漂着物を見てみよう

期間：2012年2月22日～3月25日

東海大学教養学部人間環境学科自然環境課程藤吉研究室

日本は、周囲を全て海で囲まれた島国であり、日本人にとって砂浜は切っても切り離せない存在です。そんな砂浜を見てみると、私たちの住む内陸地とは異なる独特の環境が存在していて、普段見られない面白い発見がたくさんあります。

その中でも、砂浜に打ち上げられる漂着物に着目し、調査を行いました。漂着物とは、砂浜や海岸などの海辺に打ち上げられたさまざまなものを示します。私たちの身近な砂浜には、いったいどのような漂着物が流れ着いているのでしょうか。

今回、私たちは、身近な砂浜である湘南海岸で漂着物調査を実施しました。その結果を、陸から流れ着いたもの・海から打ち上げられたもの・人間が作り出したものに分けてポスターにまとめました。

また、漂着物の魅力をより広い視野で見るために、伊豆大島と西表島についても調査を行い、トピックとしてまとめました。

展示には、ポスターの他に実際に拾い集めた、貝や種子・プラスチック製品なども展示します。

さらに、調査の際に拾い集めた漂着物を使って、実際に砂浜を再現する予定です。私たちの展示をきっかけに、身近な砂浜に少しでも興味を持ってもらえればと思います。そして、砂浜散策を試みてください。普段は見ることのできない、新しい発見ができると思います。

東海大学教養学部人間環境学科自然環境課程

4年北村由紀恵



▲集めたものを分ける

◀平塚市虹ヶ浜での調査のようす▼



▶漂着物を集める▶

2月

2	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室	
3	金	古文書講読会	講堂	
4	土	お囃子研究会	講堂	
5	日	天体観測会「カノープスを見よう」	平塚海岸	
		水辺の楽校生きもの調べの会	科学教室	
6	月	平塚の古代を学ぶ会	講堂	
		休館日		
7	火	平塚地質調査会	工作室	
9	木	石仏を調べる会	特別研究室	
10	金	古文書講読会	講堂	
11	土	祝日開館		
12	日	博物館文化祭発表会	講堂	
13	月	休館日		
15	水	裏打ちの会	科学教室	
		民俗探訪会	特別研究室	
16	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室	
17	金	古文書講読会	講堂	
18	土	「Style-3! プラネタリウム」	プラネタリウム室	
		相模川の生い立ちを探る会	科学教室	
19	日	地域史研究ゼミ	特別研究室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
20	月	ろばたばなし	相模の家	
21	火	休館日		
23	木	石仏を調べる会	特別研究室	
24	金	古文書講読会	講堂	
25	土	古代生活実験室	科学教室	
		星まつりを調べる会	鎌倉	
26	日	「鎌倉の二十三夜塔」		
		自然教室「花水川で冬の野鳥を見よう」	花水川	
27	月	休館日		
29	火	休館日		

「第13回博物館 サークル活動展示・発表」2月4日～19日

「自然探偵の歩いた道」2月1日～2月28日

「プラネタリウム「アクアマリン的星空の旅」」2月4日～4月8日

3月

1	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室	
2	金	古文書講読会	講堂	
3	土	◎星を見る会「水星・金星・火星・木星」	科学教室・屋上	
4	日	お囃子研究会	講堂	
5	月	平塚の古代を学ぶ会	講堂	
		水辺の楽校生きもの調べの会	野外	
6	火	休館日		
6	火	平塚地質調査会	工作室	
8	木	石仏を調べる会	土屋	
9	金	古文書講読会	講堂	
10	土	古代生活実験室	科学教室	
11	日	相模川の生い立ちを探る会	猿島	
		◎星まつりを調べる会「まとも」	特別研究室	
12	月	◎金環日食説明会	講堂	
12	月	休館日		
15	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室	
16	金	古文書講読会	講堂	
17	土	◎第4回ひらつか囃子太鼓フェスティバル	中央公民館	
18	日	天体観察会	科学教室・屋上	
		「まとも、春の星座と惑星の観察」		
19	月	◎ろばたばなし	相模の家	
19	月	休館日		
20	火	祝日開館		
21	水	裏打ちの会	科学教室	
21	水	民俗探訪会	特別研究室	
22	木	石仏を調べる会	特別研究室	
23	金	古文書講読会	講堂	
24	土	◎自然教室「里山で春を探そう」	土屋	
24	土	平塚の遺跡を歩く「真田城」	市内	
26	日	休館日		
30	金	◎雑貨団プラネタリウム公演「u(ユー)」	プラネタリウム室	
31	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	

「第13回博物館 サークル活動展示・発表」2月4日～19日

「自然探偵の歩いた道」2月1日～2月28日

「プラネタリウム「アクアマリン的星空の旅」」2月4日～4月8日

「春期特別展「平塚と相模の城館」」3月17日～5月6日

展示・プラネタリウムと行事

＜特別展と関連行事＞

☆第13回博物館文化祭—サークル活動展示・発表—
※本紙1頁参照。

＜寄贈品コーナー＞

☆「自然探偵の歩いた道」
※本紙3頁参照。

＜プラネタリウム＞

☆プラネタリウム番組「アクアマリン的星空の旅」
内容：当地出身のアーティスト、アクアマリンの曲とともに題材となった星座を巡ります。
投影日：2月4日（土）～4月8日（日）
時間：（1）午前11時 （2）午後2時
観覧料：200円（18歳未満・65歳以上無料）

＜申込制の行事＞

◎自然教室「花水川で冬の野鳥を見よう」
内容：花水川沿いを歩きながら野鳥の観察をします。
日時：2月25日（土）8時50分～11時
場所：花水川
講師：こまたん

☆：展示・プラネタリウム ○：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制

参加：往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入し、2月15日（水）までに申し込む。小学生以下は保護者同伴のこと

定員：15名

○プラネタリウムコンサート「Style-3! うるう年コンサート2012」

日時：2月17日（金）（1）午後2時、（2）午後7時
場所：プラネタリウム室

申込：往復はがきに代表者氏名・住所・電話番号・人数（1枚のはがきで3人まで）・希望する回（どちらか一回のみ）を書いて2月10日（金）必着で申し込む。

定員：60人（応募多数時抽選）

料金：500円（18歳未満、65歳以上は300円）

＜自由参加の行事＞

◎ろばたばなし

内容：民家のいろいろばたで昔話を語ります。

日時：2月19日（日）（1）午後1時20分、（2）午後3時

場所：展示室1階「相模の家」

参加：自由

2月の休館日：6日、13日、20日、27日、29日